

こんな取り組み します!

おおぞらのいえでは、社会性を身につけるために日常生活が自立している利用児を中心に「社会適応訓練」という取り組みを行っています。エレベーターに一人で乗れるようになる、他の施設の職員に挨拶ができるようになる、美容院に行けるようになる・・・など、内容は個々によって違いますが、それぞれが「自律」を目指して頑張っています。



ありがとうございました

のじぎく療育センター卒園者の小林氏がこの度も子ども達に寄附をしてくださいました。今回はタイガーマスクを着用しての登場で、子どもたちが大喜びでした。

毎回、子ども達の生活に役立つ物を寄附していただいています。が、今回はユニバーサル食器とチャイルドチェアードでした。

ありがとうございました。



おおぞらだより16号が出来上がりました。新しい年がスタートし、子どもたちも職員も気持ち新たに頑張っていこうと思っています。新しいことにどんどん挑戦していく、子ども達の新たな一面をたくさん発見できる1年にしていきたいです。

次回も、子どもたちの様々な様子を届けていきたいと思いますので、楽しみにしてください。



僕は、卓球が好きです。週に何度か体育館での練習に参加しています。卓球の試合がとても楽しいです。この前は、のじぎくゆうあい卓球大会で3位になつてメダルをとりました。嬉しかったです！これからの目標は東京パラリンピックに出場することです。これからも頑張っていきます。

僕・私の好きなもの



浜坂温泉保養荘

1泊2食¥12,450より

※上記料金は60歳以上2名利用の場合(写真は力二おすすめコース)

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
ご予約・お問い合わせは… ☎(0796)82-3645

新年のごあいさつ

障害児入所施設 おおぞらのいえ
療育指導課長 谷川 久美子

新年明けましておめでとうございました。
昨年中は、「ご支援」「協力誠にありがとうございました。」



第16号
平成28年 1月 31 日発行
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
おおぞらのいえ
〒651-2181
神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727 (代)
FAX (078) 925-9253

本日も施設内は子ども達と職員の賑やかな声が響いています。一年を振り返ると子ども達の成長のスピードには目を見張るものがあります。過去の映像を子ども達と観ていると、自分たちの幼顔に「かわいい。ちっちゃい。」と子ども達自身からも驚きの歓声があがります。現在平均年齢は12歳になつており、来年度に退所年齢18歳を迎える児童が3名在籍しています。これからも子ども達の成長に応じた支援を通じて、本人と家族が望む進路選択に向け、職員一丸となつて支援していきたいと思っています。

さて、昨年ホームページをリニューアルしました。おおぞらのいえの情報を皆さまにお届けできるよう、定期的に更新しております。ぜひご覧ください。

今後とも皆様のご協力ご理解をよろしくお願いします。

ボランティアの皆様に支えられて

みんな大好きおはなし会♪

当事業所は療育を行つ中で、様々なボランティアの方にご協力頂いています。今回は月に1回おはなし会を開いて下さる、『のばら文庫 しゃぼんだま』の皆様のことについてご紹介します。『しゃぼんだま』の皆様は、平成25年3月より、月に1回当事業所へ来所し、20分程度のおはなし会を開いて下さっています。絵本や紙芝居、ペープサートなど内容は様々です。また、毎季節の絵本や手遊びなどを取り入れて下さい、子どもたちが四季について知り、感じる場にもなっています。最初は落ち着かず椅子に座れなかつたり、恥ずかしさや不安を感じ、戸惑っていた子どもたちですが、繰り返しの言葉がある絵本や、大好きな食べ物や動物などの絵本に興味を引かれ、少しずつ絵本の楽しさを知ることができました。また、子どもたちの集中が最後まで続くように、手遊びを取り入れるなどの工夫もあり、座つて話を聞く時間も延びていきました。月1回、継続して来て頂いていることで、最初は落ち着かなかった子どもたちも、今ではおはなし会を心待ちにしています。

これからもボランティアの皆様を始めとする地域の皆様に支えて頂きながら、風通しのよい、多くの人が子どもたちを見守る事業所を目指して取り組んでいきたいと考えます。

入所施設

肘井選手が会いに来てくれました!

お正月に千葉ロッテマリーンズの肘井竜蔵選手が忙しい合間を縫つておおぞらのいえを訪問してくれました。突然の肘井選手の訪問に子どもたちはびっくりするやら嬉しいやら。握手やサインをしてもらい大喜び!子どもたちにとつてかけがえのない時間となりました。肘井選手が帰つてからも嬉しそうに写真を眺めたり、もらつたサインを職員に自慢したりと、笑顔いっぱいの一 日でした。肘井選手、ありがとうございました!



気持ちの良いあいさつ~

私達は、おはなし会の前には「お願いします」、終わった後には「ありがとうございます」「またきてね」と声をかける子どもたちに伝えています。ボランティアの皆様が帰っていく時には、「バイバイ」、「またきてね!」と声をかける子どももいます。「お願いします」「ありがとうございます」「またきてね」の挨拶は相手にとっても子どもたちにとつても、気持ちのいい言葉です。そんな挨拶をする機会を作り、経験を重ね、日常生活で自然と使えるように意識して支援しています。

子どもたちは、いざれは当事業所を退所し、次のステップに進んで行きます。その中で、このようなボランティアの皆様との触れ合いは貴重な経験で、一步を踏み出す力へと繋がっていきます。



クリスマスイベント

平成27年12月12日に、少し早いクリスマスイベントとしてボランティアの末原さんが来所してくれました。末原さんは月1回、施設を訪れ、交流を続けてくれています。

この日は、紙芝居やbingoゲームを楽しんだ後、サンタの衣装という思わずプレゼントを用意して頂きました。子供たちは喜び勇んでサンタの衣装に身を包み記念撮影をしました。笑顔の絶えない午後のひとときとなりました。



※写真の掲載については、保護者の承諾を得ています。